



Annual Report
2010

IT連携フォーラムOACIS

Osaka Advanced Research Collaboration Forum
for Information Science & Technology

「情報科学の教育・研究のあらたな飛躍に向けて」

OACISチェアマン

今瀬 真 (大阪大学 大学院情報科学研究科長)



IT連携フォーラムOACISは平成14年7月に発足し、10年目に突入しました。ここまで継続して活動を続けてこれた事は、会員企業の皆様のご支援、ご鞭撻のおかげと深く感謝しております。この場を借りて御礼申し上げます。

IT連携フォーラムOACISの活動も、当初は大学の研究のシーズを企業の方々に理解頂き、産学連携を図るという研究が主目的でしたが、大学の教育の在り方や企業の方への社会人教育など人材育成も含めて活動の幅を拡げてまいりました。

この10年間で世の中の状況も変化しました。特に産業界のグローバル化の波は、大きく社会構造を変え世界中のさまざまな企業、研究組織などが複雑に依存するようになり、必要とする人材像も変化しております。情報科学研究科においても、「情報科学を基盤としてもものづくり産業の中核技術者、新産業や新分野を創造・開拓し世界で活躍できる研究者を養成する」ことを目標として、次のような能力の滋養を行っております。

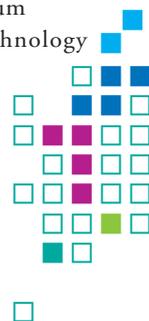
- 情報科学分野の高い専門知識に基づき基礎から応用にわたる研究開発のリーダーシップをとれる能力
- 高い専門性と広い見識をもって情報科学分野の学際領域を創造・開拓する能力
- 世界的に通用する広い見識をもって情報科学分野の学際新領域を創造・開拓する能力

このために、海外インターンシップ、コミュニケーション能力開発、博士後期課程学生のアドバイザー制度など様々な取り組みをおこなってきております。

また、平成23年度に「ソフトウェアイノベーション先導のための研究教育プログラムの開発」が概算要求として認められソフトウェア教育について、あらたな飛躍に向けて準備をしております。本プログラムを通じて、関西のソフトウェア教育の中核的組織として関西の活性化に貢献する所存です。このような取り組みに対して、企業の方々のご意見、ご協力は重要であり大変有益なものであります。今後とも変わらぬご協力をお願い申し上げます。

研究については、順調に成果をあげております。今年度は、情報処理学会50周年記念論文4件のうち本研究科の論文が2件採択されたり、本研究科の成果がNHKなど報道機関に大きく取り上げられたり、研究科の存在感が世にアピールできました。また、生命機能研究科、独立行政法人情報通信研究機構NICTなどと共同して進めている「脳情報通信融合研究」についても、領域融合型のあらたな研究方向を世界に提示すべく研究を活発に進めております。

情報科学研究科構成員一同、研究科の更なる発展により社会への貢献に努力する所存です。今後ともますますのご支援の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



「イノベーションと人材育成を 加速する産学連携への期待」



三菱電機株式会社 役員理事 先端技術総合研究所 所長 田中 健一

IT連携フォーラムOACISが、実効のある産学連携を目的として、シンポジウムや技術座談会の開催など、具体的なプロジェクトに繋がる産学交流の場として順調に実績を重ねていることをお喜び申し上げます。

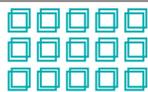
世界的な不況から立ち直りつつある経済情勢の中、日本企業にとって、グローバルな競争力を向上させ、研究開発と成果の実用化に到るプロセスを加速することが急務です。さらに、平成22年度末に発生した震災によって社会インフラの強化と効率化が喫緊の課題として顕在化しており、従来にも増してスピーディな研究開発が要請されています。従来、企業の事業成績に直結するインクリメンタルな研究開発は自前で行い、長期的な課題に産学連携を活用するという使い分けが基本的な考え方としてありましたが、短期間で実用的なブレークスルーを促すには、課題を問わず、利用可能な技術を集積して評価するオープンイノベーションが有効です。

IT連携フォーラムOACISが主要テーマとする情報技術はシステムの効率的かつ安全な動作を担う神経網にたとえられます。家庭やオフィス、店舗、工場で使われる機器、交通機関や電力、水道などの社会インフラが、安全で快適、最大の効率かつ最小の環境負荷を実現するには、情報技術を駆使した大規模ソフトウェアや組み込みソフトウェアが大きな役割を果たします。システムやソフトウェアを進化させるイノベーションの創出を促進し、これらの骨格を創造するアーキテクトを育成することは大きな課題であり、産学連携の効果として期待されることでもあります。

IT連携フォーラムOACISが、参加する多様な人材の交流を通じて成長とイノベーションを促す研鑽と創造の場として、連携のネットワークを拡大し、これまでの活動実績の上に、さらに大きな実績を築いていくことを期待しています。

IT連携フォーラムOACISにご努力頂いている皆様方のご指導・ご支援をよろしくお願ひ致します。





第18回シンポジウム

～省エネ・高性能化に向けた
データセンターの展開と課題～
—グリーンITの実現に向けて—

開催日：平成22年7月9日(金) 会場：千里阪急ホテル
参加対象：IT連携フォーラムOACIS会員及び入会希望会社・団体、その他の希望者
協賛：大阪大学大学院情報科学研究科
協催：社団法人日本能率協会
参加者数：86名



講演Ⅰ 「グリーンITへの途『データセンターまるごとエコ』」

日本電気株式会社
応用アプライアンス事業部 統括マネージャー 高木 均

講演Ⅱ 「環境配慮型データセンターを実現するIT —設備関係管理技術」

株式会社日立製作所 中央研究所
グリーンIT基盤研究センター グリーンコンピューティング研究部 部長代行
齊藤 達也

講演Ⅲ 「クラウドの基盤となる省エネで高信頼な データセンターファシリティ」

株式会社NTTファシリティーズ
データセンター環境構築本部 担当部長 吉田 誠

講演Ⅳ 「大阪大学におけるグリーンIT」

大阪大学サイバーメディアセンター
サイバーメディアセンター長・教授 竹村 治雄

第19回シンポジウム

～日本のITが危ない～
—急げ！世界で勝負できる
IT技術者の育成—

開催日：平成22年11月26日(金)
会場：大手町ファーストスクエアカンファレンス
参加対象：IT連携フォーラムOACIS会員及び入会希望会社・団体、その他の希望者
共催：大阪大学大学院情報科学研究科
協催：社団法人日本能率協会
協力：大阪大学大学院情報科学研究科同窓会「情朋会」
参加者数：72名

講演Ⅰ 「産学連携推進と次代のIT技術者の育成」

独立行政法人 情報処理推進機構
IT人材育成本部 産学連携推進センター 次長 石黒 麻里子

講演Ⅱ 「海外展開と人材採用・育成」

株式会社日立ハイテクノロジーズ
ナノテクノロジー製品事業本部 主管技師 池田 光二

講演Ⅲ 「携帯の世界で活躍する人材像と育成」

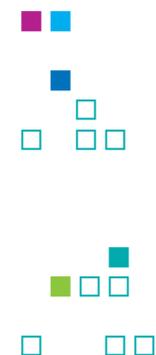
株式会社NTTドコモ
執行役員 マーケティング部長 永田 清人

講演Ⅳ 「大阪大学情報科学研究科における 人材育成 —IT教育の現状と展望—」

大阪大学大学院情報科学研究科 教授 清水 浩

パネル討論 「世界で勝負できるIT技術者の育成」

【コーディネータ】 大阪大学大学院情報科学研究科 教授 萩原 兼一
【パネリスト】 石黒 麻里子/池田 光二/永田 清人/清水 浩





* 特定の企業から受けたテーマに基づき、大学側のメンバがその企業に出向き講演や打合せを行います。
2009年度から開始した活動で、深い議論ができることを期待しています。

第4回個別技術座談会*

「ネットワーク計測技術に関する最新動向と将来展望」

開催日：平成22年4月27日(火)
対応部門：大阪大学サイバーメディアセンター
先端ネットワーク環境研究部門 中野研究室

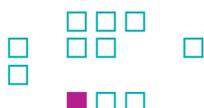


TCP/IPネットワークのエンド間パスの利用可能帯域、遅延時間、パケット廃棄率などを高精度かつ短時間に計測する技術に関する、最近の研究動向や将来展望について紹介しました。

特別技術座談会

「『大阪創造取引所2010』出展」

開催日：平成22年10月26日(火)・27日(水)
開催場所：堂島リバーフォーラム
主催：近畿経済産業局・社団法人関西経済連合会
大阪府・大阪市・大阪商工会議所
特別協力：株式会社ナレッジ・キャピタル・マネジメント
来場者数：約3,000人(展示訪問者数：75人)



IT連携フォーラムOACIS(以下、OACIS)の紹介を行いました。具体的には、OACISの提供するサービス(OACISシンポジウム、OACIS講座、個別技術座談会、一般技術座談会、講演会紹介)およびこれまでの実績を紹介すると共に、今後行われるOACIS講座(11月)、OACISシンポジウム(11月)の紹介を行いました。また、OACISへの加入を呼び掛けました。



特別技術座談会

「GCOE Work-In-Progress 研究会」

開催日：平成23年3月9日(水)
開催場所：大阪大学大学院情報科学研究科
主催：大阪大学グローバルCOEプログラム
特別協力：IT連携フォーラムOACIS



OACIS特別技術座談会として、GCOE Work-In-Progress 研究会が開催されました。大阪大学GCOEプログラムに参画している博士後期課程学生が、研究の進捗状況や研究計画について報告しました。





OACIS講座

「平成22年度OACIS講座(前期) 情報ネットワークの基本技術」

開催日：平成22年7月7日(水)・21日(水)・28日(水)
 開催場所：大阪大学中之島センター7階 講義室2
 主催：IT連携フォーラムOACIS・財団法人都市活力研究所
 共催：大阪商工会議所
 参加者数：23名



「情報ネットワークの基本技術」をテーマとして、これから情報ネットワーク関連のビジネスに携わる方々、改めてその基礎を復習したい方々、技術開発の教訓を経営に生かしたい方々などを対象に全6回の講義を行いました。

OACIS講座

「平成22年度OACIS講座(後期) 最新ネットワーク技術動向と将来展望」

開催日：平成22年11月5日(金)・12日(金)
 開催場所：大阪大学中之島センター7階 講義室2
 主催：IT連携フォーラムOACIS・財団法人都市活力研究所
 共催：大阪商工会議所
 参加者数：33名



「最新ネットワーク技術動向と将来展望」をテーマとして、最新技術に関する知識を深めたいネットワーク技術者の方、技術動向を経営に活かしたい幹部の方などを対象に全4回の講義を行いました。

共催・協賛



◆ セキュア・ネットワークセミナー2010プラス (5回開催)

講演等の紹介

開催日	講演テーマ	講師
4月6日	「Maintaining inference-proof client views: principles and the combined approach」	Prof. Joachim Biskup
5月24日	「On distributed verification」	Prof. Shay Kutten
5月24日	「Informative labeling schemes」	Dr. Amos Korman
9月10日	「Scalability issues in context management」	Prof. Kurt Rothermel
10月28日 ~11月25日	「セキュア・ネットワークセミナー2010プラス」	
11月11日	アーバン・イノベーション・セミナー 「グローバルベンチャー 成功への道と大阪の可能性」 —マーケティングと人材の大切さについて—	
11月15日	「Energy efficient transmission strategies for sensor networks with energy harvesting」	Prof. Biplab Sikdar
平成23年 3月9日	「大阪大学グローバルCOEプログラム GCOE Work-In-Progress 研究会」	





役員

(平成23年4月1日現在)

I アドバイザリーボードメンバー (任期：2年)

- 廣瀬 雄二郎 西日本電信電話株式会社 取締役 法人営業本部長
- 宮部 義幸 パナソニック株式会社 常務役員
- 田中 健一 三菱電機株式会社 役員理事 先端技術総合研究所 所長
- 灘本 正博 大阪商工会議所 専務理事
- 斉藤 行巨 社団法人関西経済同友会 常任幹事・事務局長
- 奥田 真弥 公益社団法人関西経済連合会 専務理事

II 監事 (任期：2年)

- 大西 一彦 ダイキン工業株式会社 ビジネスフロー革新部 IT推進担当部長

III OACISチェアマン

- 今瀬 真 大阪大学大学院情報科学研究科長

IV ステアリング・コミティーメンバー (任期：2年)

- 北原 寛千 関西電力株式会社 経営改革・IT本部 IT戦略グループ マネジャー
- 三宅 知之 シャープ株式会社 研究開発本部 産学協同開発センター 戦略企画室 室長
- 小野 大泰 西日本電信電話株式会社 法人営業本部 ソリューションビジネス部 担当部長
- 下地 達也 パナソニック株式会社 スタンダードコラボレーションセンター所長
- 松浦 司 三菱電機株式会社 先端技術総合研究所 開発戦略部 連携推進グループ 主席研究員
- 井上 毅 大阪商工会議所 経済産業部 ベンチャー振興担当
- 遠藤 健二 社団法人日本能率協会 地域事業ユニット ユニット長
- 中野 博隆 大阪大学サイバーメディアセンター先端ネットワーク環境研究部門
- 松田 秀雄 大阪大学大学院情報科学研究科バイオ情報工学専攻
- 藤原 融 大阪大学大学院情報科学研究科マルチメディア工学専攻
- 東野 輝夫 大阪大学大学院情報科学研究科情報ネットワーク学専攻
- 中前 幸治 大阪大学大学院情報科学研究科情報システム工学専攻
- 井上 克郎 大阪大学大学院情報科学研究科コンピュータサイエンス専攻
- 谷田 純 大阪大学大学院情報科学研究科情報数理学専攻

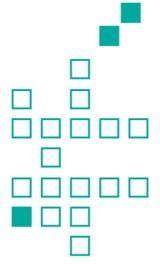
顧問

- | | | |
|--------------------------------------|------------------------------------------|-----------------------|
| 白川 功
株式会社シンセシス 取締役会長
大阪大学 名誉教授 | 宮原 秀夫
独立行政法人情報通信研究機構 理事長
大阪大学 名誉教授 | 西尾 章治郎
大阪大学 理事・副学長 |
|--------------------------------------|------------------------------------------|-----------------------|

参画企業 (50音順)

- | | | |
|---------------------|----------------|----------------------|
| アイテック阪急阪神株式会社 | クマリフト株式会社 | 日本アイ・ピー・エム株式会社 |
| NTTアドバンステクノロジー株式会社 | 三洋電機株式会社 | 日本電気株式会社 |
| NTTコミュニケーション科学基礎研究所 | シスコシステムズ合同会社 | パナソニック株式会社 |
| NTTコムウェア西日本株式会社 | 株式会社島津製作所 | パナソニック電工株式会社 |
| NTTスマートコネクスト株式会社 | シャープ株式会社 | 日立公共システムエンジニアリング株式会社 |
| 株式会社NTTデータ | 株式会社スーパーステーション | 株式会社日立ソリューションズ |
| 株式会社NTTドコモ 関西支社 | ソニー株式会社 | 古野電気株式会社 |
| 株式会社NTTファシリティーズ | ダイキン工業株式会社 | 三菱電機株式会社 |
| 沖電気工業株式会社 | 株式会社ダイヘン | 三菱電機情報ネットワーク株式会社 |
| 関西電力株式会社 | 株式会社大和コンピューター | 三菱電機プラントエンジニアリング株式会社 |
| 関電システムソリューションズ株式会社 | 西日本電信電話株式会社 | 株式会社村田製作所 |

平成23年3月31日現在



電子トリアージシステム



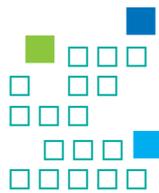
本研究では、列車事故や災害などで数百人規模の傷病者が短時間に発生する状況を想定し、各傷病者に装着したバイタルセンサから脈拍や血中酸素濃度などの情報を無線アドホックネットワーク経由で収集し、傷病者の位置や病状変化をリアルタイムで図的に提示する救命救急医療支援システムを開発しています。

(科学技術振興機構(JST)
戦略的創造推進事業(CREST)として実施)

■電子トリアージシステム…<http://etriage.jp/>

OACIS

O saka A dvanced Research
C ollaboration Forum for
I nformation S cience & Technology



■アクセス

- 大阪モノレール
「万博記念公園駅」で彩都線に乗り換え、「阪大病院前駅」下車、徒歩約12分
- バス
阪急バス：千里中央発「阪大本部前行」または「茨木美穂ヶ丘」
近鉄バス：阪急茨木市駅発「阪大本部前行」(JR 茨木駅経由)
いずれも、「阪大本部前」下車、徒歩約5分